

令和4年11月16日

一般社団法人 全国専門学校教育研究会

オーナー部会 各位

法人責任者部会 各位

校運営部会 各位

校運営部会 座長 成底 敏

教育質向上委員会 委員長 八木 信幸

教育質向上委員会 副委員長 木村 隆浩

### 「学習者目線で授業やカリキュラムを改善するためのデータ活用」(オンライン) 研修について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度データサイエンスの研修を実施させていただきましたが、その中で、実際の教育現場では、どのようにデータを分析し活用していくのかというご質問がありました。

そこで、今回の研修では、実際の授業アンケートや修了時アンケート、学習管理システム(LMS)のログデータ、学生の集中度データ、テスト中の作業ログデータといった様々なデータを組み合わせて、講師の質の向上方法などを学んでいただきます。講師は前回に引き続き、データサイエンス企業の経営者でありデータサイエンスの実務者でもあり、さらに、専門学校で実際にデータサイエンスの授業を担当している講師をお願いいたしました。

年末のご多忙な時期とは存じますが、前回の受講の有無に関わらず、また、管理職の方はもちろん、事務、広報、教務などいろいろな業務の皆様のお役立ていただければと考えております。ぜひこの機会に多くの皆さんに受講していただきたい内容ですのでよろしくお願い申し上げます。

敬具

### 研修内容について

- ◆日時：1日目 令和4年12月20日(火) 13:00~16:00 3時間(Zoomによるオンライン研修)
- 2日目 令和4年12月21日(水) 13:00~16:00 3時間(Zoomによるオンライン研修)

### ◆テーマ：「学習者目線で授業やカリキュラムを改善するためのデータ活用」

データミックスでは、2017年から累計で1000名以上の社会人に対してデータサイエンス教育を行ってきました。創業当時から先端分野であるデータサイエンスの講師はもともと数が少なく、講師をいかに育成するかが課題でした。また、授業の質は顧客満足度に直結するため、創業初期からデータミックスでは「講師認定ステップ」という講師育成プロセスを設けました。そして、講師としてデビューした後も授業アンケートや修了時アンケート、学習管理システム(LMS)のログデータ、学生の集中度データ、テスト中の作業ログデータといった様々なデータを組み合わせて、講師の質の向上に引き続き挑戦しています。

今回の研修では、データミックスが取り組んできた授業の質の向上を目指すデータ分析のアプローチを紹介し  
ます。また、演習を通じてアンケート設計のポイントや、時系列ログデータの分析アプローチを学びます。

◆研修の参加にあたっての必要な事前知識

- 参加いただくにあたり、統計学や AI の事前知識は不要です。
- 研修内では以下のソフトウェアを使いますので、事前にインストールをお願いします。
  - ▶ MS エクセル（エクセルのバージョンは、Windows の場合は 2007 以降、Mac 版の場合 2013 以降）
  - ▶ Tableau Public（タブローパブリック）
    - ◇ Tableau とはスタンダードな BI ツールの 1 つで、無償版である Tableau Public を研修では使  
います。以下の URL から事前にダウンロードして、インストールをお願いします。

<https://www.tableau.com/ja-jp/products/public/download>

【キーワード】

授業アンケートデータ、学習管理システムのログデータ、集中度、BI ツール、Excel、データクレンジング

◆研修の概要：

第 1 日目 令和 4 年 12 月 20 日（火）

時間	概要	詳細内容
12:30～13:00	受 付	Zoom のミーティングルーム
13:00～13:45 (45 分)	教育シーンでデータやデジタル技術を活 用する意義とは	教育の PDCA サイクルを回す重要性と PDCA サイクルを回す際に、客観的かつ学習者目線 での改善がデジタル活用によって可能である ことを説明します。
13:45～14:30 (45 分)	オンラインとオフラインでデジタル活用 事例	アンケート、ログデータなど利用できるデー タの性質と分析アウトプットを解説します。 また先端技術の教育における使い道を説明し ます。
14:30～15:45 (45 分)	演習：BI ツールでアンケートデータを分 析してみよう	データミックスの授業アンケートデータを用 いて、BI ツールでのデータ分析方法を学び ます。
15:45～16:00 (15 分)	質疑応答	質疑応答を行います。

※適宜休憩を入れます。

第2日目 令和4年12月21日(水)

時間	概要	詳細内容
12:30～13:00	受付	Zoomのミーティングルーム
13:00～13:45 (45分)	ログデータや集中度データの活用アプローチ	学習管理システム(LMS)や集中度データといった時系列データの活用方法を解説します。
13:45～14:30 (45分)	データクレンジングの基本	ログデータを扱う際にまず必要なのはデータクレンジングです。外れ値や欠損値の処理の方法を学びます。
14:30～15:30 (60分)	演習：ログデータの分析演習	エクセルとBIツールを活用してログデータを分析する演習を行います。
15:30～15:45 (15分)	テスト受験ログデータを使った分析例	テスト受験中の操作ログデータを分析した事例を紹介します。
15:45～16:00 (30分)	質疑応答	質疑応答を行います。

※適宜休憩を入れます。

◆講師： 堅田洋資 氏

株式会社データミックス 代表取締役

日本では数少ない米国大学のデータサイエンス修士号を保有。

2017年にデータサイエンティスト育成スクールであるデータミックスを創業。年間2000人以上の社会人を教育するとともに、大手企業からベンチャー企業まで幅広いデータ分析プロジェクトの支援を行う。前職の白ヤギコーポレーションにて、社内のデータはもちろんクライアントのデータ分析を支援する分析コンサルタントとして活躍。主に人工知能・機械学習を用いたレコメンデーション、アプリユーザーの行動分析や機械学習を用いたプッシュ通知の最適化、交通系IoTのデータ分析、物流倉庫の数理最適化などを担当。白ヤギコーポレーション参画前は、監査法人トーマツにてデータ分析コンサルタント、生体センサスタートアップでサービス・アルゴリズム開発の取締役、KPMG FASにて事業再生コンサルタント、外資系メーカーでの経理・マーケティングなど幅広い経験を持つ。

【学歴】

- ・ University of San Francisco, M.S. in Analytics 修了
- ・ 一橋大学商学部卒業（統計学・データサイエンス専攻）

【著作】

- ・ 『フリーライブラリで学ぶ機械学習入門』（秀和システム、2017）
- ・ 『直感でわかる！Excelによる機械学習入門』（インプレス、2019）
- ・ 『統計学の基礎から学ぶ Excel データ分析の全知識』（インプレス、2021）

【講演実績】

- ・日経ビッグデータカンファレンス「世界最大級分析モデルコンペ Kaggle の最新動向」
- ・デブサミ 2016 「人間と機械学習のはざま：どこまで機械に任せるのか」
- ・マーケティングテクノロジーフェア 2017 「ケースで学ぶ！意思決定者のための統計学超入門 ～理論とケースで統計学的思考の基本を身につける～」

他多数

◆参加料

全専研会員校 10,000 円/1名

全専研非会員校 15,000 円/1名

◆定員

40名（両日参加できる方が条件です。片方のみ参加は受け付けません。）

◆必要環境

ネット環境、Webカメラ&マイク付きPC、Excelが利用可能なこと。BIツール（Tableau Public（タブローパブリック））のインストール。

◆申込み方法 申込み受付期間 令和4年12月16日（金）18:00まで

申込みを受け付けた場合は返信・確認のメールを送付させていただきます。  
また令和4年12月16日（金）までに参加料を下記口座にお振込みください。

【振込先】

清水銀行 三島支店 普通口座

口座番号：2177699（店番号：103）

シヤ) ゼンコクセンモンガツコウキョウイクケンキョウカイ

口座名義：一般社団法人全国専門学校教育研究会

領収書はメール PDF にて送付させていただきます。

【お問い合わせ】

担当 学校法人河原学園 木村 隆浩

メール kimura@kawahara.ac.jp 電話 089-943-5333

「学習者目線で授業やカリキュラムを改善するためのデータ活用」(オンライン) 研修

参加申込書

法人名 \_\_\_\_\_

学校名 \_\_\_\_\_ 記入者名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

参加者氏名 (フリガナ) メールアドレス	所属する学校・学科名 (正式名称)
@	
@	
@	
@	
@	

お申込み方法はメールでお願いいたします。

申込期限 **令和4年12月16日(金) 18:00まで**

お申込みのメール送付先 [kimura@kawahara.ac.jp](mailto:kimura@kawahara.ac.jp) 学校法人 河原学園 木村 隆浩

※受信後、受理確認のメールを返信いたします。(返信が無い場合はお手数ですがお電話をお願いいたします)

※複数人のお申込みの場合は、メールをいただいた方を代表としてお返事いたします。

講座の内容等に関するお問い合わせ先

学校法人 河原学園 本部 TEL089-943-5333 木村までお願いいたします。

メールでのご質問も受け付けいたします。